



耳鼻いんこう科診察室より 耳よいな話

寝込んでしまうほどのつらい頭痛「片頭痛」。片頭痛の患者さんはめまいを伴うことが多い事が昔からわかっており、めまいの患者さんも頭痛を伴うことが多く、両者は密接な関係があります。

近年「前庭性片頭痛」という疾患概念が提唱されています。片頭痛に伴ったり、片頭痛と同じ要素を持つ「めまい」で、片頭痛の治療薬で軽快することから同じようなメカニズムで発症しているのではないかと考えられております。



ここで「前庭性」とはめまいに関係する「内耳」のことです。

「前庭性片頭痛」という言葉を聞くと不思議な感じがしますが、「腹部(ふくぶ)片頭痛」というもっと不思議な病名もあります。

「片頭痛」「前庭性片頭痛」ともに、光を目にすると症状が悪化することがあります。前回(7月連載分)の「内因性光感受性網膜神経節細胞」と「ブルーライト」が片頭痛発作に関係すると考えられております。この特徴から光過敏のある「片頭痛」「前庭性片頭痛」の患者さんには症状を緩和させる手段として「サングラス」をつけることをオススメしております。ご自宅の照明を白色光から暖かな電球色にかえることも良いかもしれません。

昔、看護師さんはめまい患者さんを看護するときには「部屋のカーテンを閉めて部屋を暗くした上で安静にしてもらおう」と学校で教えられたそうです。「前庭性片頭痛」という疾患概念が確立する以前から、豊富な先輩看護師たちの経験により「光を避ける」ということを自然にしていたのですね。

6~8月の連載タイトルは「まぶしくてめまい」でした。

漢字で書くと…「眩しくて眩暈」

偶然ですが「光」と「めまい」がつながりました。